

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	(1) 事業所と地域とのつきあい ・利用者の重度化が進むなか、外部との交流が少なくなってきた。	・地域の方々と交流できる場を増やす。	・地域の行事や清掃に参加する事は継続。また、施設行事は、地域の民生員や地区の自治会長の方々の予定を前もって確認し、なるべく多くの方が参加していただけるよう日程を設定する。	12ヶ月
2	6	(2) 身体拘束をしないケアの実践 ・徘徊等に対応出来ず、玄関の施錠をしまっている。	・13時から16時までの間は玄関の施錠を行わない。	入居者の言動の理解を深めると共に、13時から16時の間は入居者の要望や意向に沿った対応ができるよう個別支援の時間を設定する。	12ヶ月
3	10	(3) 運営に関する利用者・家族等意見の反映 ・家族からの運営に関する意見の出しやすいコミュニケーションツールが確立されていない。	・年1回家族面談を実施する。	・年に1回入居者ご家族と個別面談を実施する中で家族からのさつきの運営に関する意見等を聞き、職員会議で話し合い、改善に繋げる。	12ヶ月
4	26	(4) チームでつくる介護計画とモニタリング ・各種記録が一連の流れで整理されていない。またその記録がケアプランとの一貫性が十分でない。	・記録の書き方を統一する。	・アセスメントの実施からケアプランの作成、モニタリングまでの一連の過程やそれに基づくサービス等についての記録の書き方を統一すると共に、記録に関する研修を実施する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。